

かさま市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



会員の皆さん

～市文化財の調査と普及を目指して～

笠間市文化財愛護協会

代表：かいとう 海藤 せいじ 清治（大橋）
設立：昭和45年
会員数：276人

笠間市文化財愛護協会の主な活動は5つあります。

1つ目は、「笠間の文化財読本」の発行です。郷土史を研究している先生方に依頼して、会員や市内の小中学校、公民館等の公共施設に配布しています。

2つ目は、会員を対象に総会の後、笠間の歴史や文化財についての講演会を実施しています。

3つ目は、市内の小学生を対象に、笠間の歴史や文化財についての教室を開いています。

4つ目は、市内の小中学生に依頼して、笠間に関する研究をまとめてもらい、公民館で掲示による発表をしています。さらに、研究紀要を作成してもらい、市内の各学校に配布しています。

5つ目は、会員相互の親睦も兼ねて視察研修を行っています。昨年は、栃木県で広重美術館や雲巖寺などの見学をしてきました。



読本を執筆されている先生方



総会後の講演会



笠間の文化財読本と小中学生の研究紀要



小学生郷土教室



代表 海藤 清治さんより

この会は、昭和45年に当時の文化庁から笠間市が文化財愛護モデル地区に指定されたのを契機に組織されました。文化財は、祖先が残してくれた尊い遺産であり、これらを保護し後世に伝えることは、私たちの義務でもあります。

平成22年からは、友部・岩間両地区の文化財も調査の対象とし、両地区からも多数入会いただいています。

私たちは、過去を知ることにより、より深く現在を理解することができ、明日の文化の創造にもつながります。今後も、文化財の保護と顕彰に努め郷土愛を高めていきたいと思ひます。